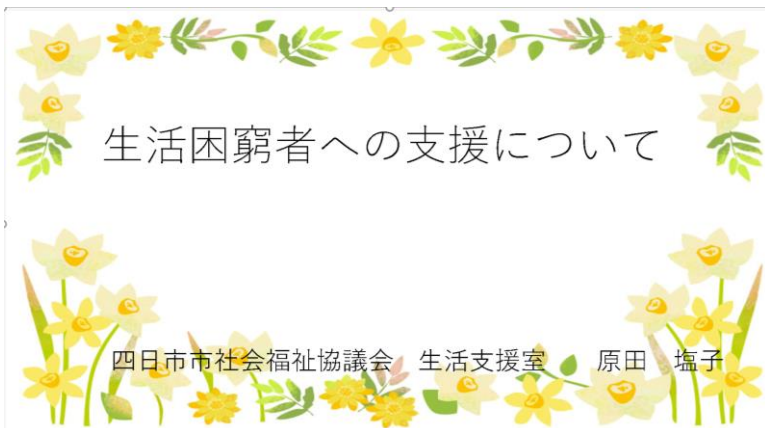


# 令和3年度 第5回 研修会 報告書







主 催：一般社団法人 三重県介護支援専門員協会 三四支部  
 日 時：令和4年2月17日 19時00分～21時00分  
 研修方法：ZOOMによるオンライン研修  
 内 容：「生活困窮者への支援について」  
 講 師：社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会  
 生活支援室 原田 塩子 先生  
 参加者：会員51名 ・ 非会員4名

今回の研修は、生活困窮者への支援についてを社会福祉協議会の原田先生にご講義をいただきました。ケアマネージャーとして、介護保険だけでなく、様々な社会資源を把握し、その方に必要な社会資源へつなぐつなぎ様々な他職種との連携を図る必要があります。今回の研修では、実際にあった事例をもとにグループワークも行い、もし自分が担当だったら、どんな機関につながるか、どんな資源があればよいかを話し合いを行いました。ケアマネ一人では何もできませんが、他職種で連携し、その方、ご家族の生活を支え、自立するきっかけを作る。何事も初めては困惑し、自身も持てませんが、様々なケースを経験する中で自分の引き出しが少しずつ増えていけるとよいと感じました。

令和3年度の全5回の三四支部の研修も無事に終わりました。次年度もケアマネの皆様にとって、業務に役立つ研修を実施していきたいと思っております。ぜひ、ご参加くださいね！



## 生活支援室メンバー紹介

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| <br>就労支援員<br>森岡 正司 | 障害分野の豊富な現場経験と社会福祉士の見地により様々な経験や知識を生かし、分析しながら心理を紐解き、寄り添いサポートを目指します！      | <br>主任相談支援員<br>原田 塩子          | 福祉の仕事は37年目。高齢者の介護や在介相談員、主任介護支援専門員としての経験と学生時代からの児童関係のボランティア経験をもとに益々日々勉強中！        |
| <br>相談支援員<br>伊藤 良則 | 信用金庫40年以上勤務。ローンなどのライフステージでの相談！社会保険労務士を生かし年金の運用などセカンドライフのお手伝い！経験豊富♥     | <br>相談支援員<br>磯谷 峻男            | 生活支援室1年目。「味噌の国」岡崎市出身です。高校から福祉に興味を持ち、縁あって四社協に入職しました。3児の父で、現在は我が家の生活支援のため育児休暇中です。 |
| <br>相談支援員<br>福垣 均  | 今年より新メンバー。メーカー系金融機関に約30年勤務した経験とファイナンシャルプランナーの資格を生かして、日常のお金の相談をお手伝いします。 | <br>通訳<br>ハヤシ トレス マヅミ アナ ロサリオ | 小中学校は笹川で育ち、県内の高校、大学と進学しました。今年から生活支援室で通訳として働いています。相談業務も日々勉強中です。                  |

## 脳梗塞の後遺症で半身まひの母子家庭

- ・ K国出身。女性。45歳。約8年前に来日し妻子ある日本人の男性との間に次男をもうける。次男が1歳の時に脳梗塞を発症。その時は明らかな後遺症はなかった。次男は現在小学校1年生。
- ・ 主は離婚歴があり、母国に長女（25歳）、長男（18歳）、次女（15歳）が在住している。
- ・ 語学教室を営み生計を立てていたが、半年前に脳梗塞が再発し右半身麻痺に麻痺が残った。リハビリを重ね、補装具をつけ自力歩行は何とかなるが、右手の麻痺と高次脳機能障害がある。
- ・ 時々来日する長女と県外在住の次男の父の見守り支援をうけながら在宅生活を送ることになる。
- ・ 入院中に生活保護、介護保険の申請をおこなった（要介護1）
- ・ ビザの更新の関係もあり、主は子育てを励みにリハビリを頑張り在宅生活をしながら、社会復帰したいとの思いが強くある

